

供を行うことが困難になる ように、市町村が物資の提 とされているが、本年元旦 法」で、市町村が行うこと 資の提供は、「災害対策基本 に発生した能登半島地震の ことも考えられる。 **な被害を受けた場合、市町** 本県では、市町村が大き

て、被災者への食料等の物 災害時におい 聞いている。 るなど、県と市町村が連携 した訓練を実施していると

資を運び出すとのことだが、 し、災害時には倉庫から物 部の倉庫には、明らかに災 県でも、備蓄倉庫を確保

また、長生地域備蓄倉庫

用できるよ

を確実に活 て、備蓄品 る立場とし

• 1975年

• 1994年

• 1998年

6月定例県議会 等の支援システムを活用す 町村に備蓄品を迅速に提供 するため、現在、物資調達 村を補完する立場から、

スクが想定されている地域 この倉庫は液状化や高潮リ 約1万本、仮設トイレ約70 台などを確保しているが、

般質 る葛南地域備蓄倉庫には、 食料品が約3万食、飲料水 害想定が示されているカ所 に配置されているものがある。 例えば、船橋市高瀬にあ

観点から、各地域振興事務 被災等のリスクを分散する 支援ができるよう、また、 が発生しても、迅速な物資 は、県内のどの地域で災害 防災危機管理部長

村を補完す

害時に市町

伊藤ひろし県議プロフィール

富山県に生まれる

薬品販売業に従事

東海大学付属望洋高校卒 東海大学政治経済学部卒

□略 歴

大規模災

と聞いてい れていない の検討がさ 庫は、移転



-般質問に登壇した伊藤寛県議

が活用されるのか、気になる。 考えられる備蓄倉庫の配置 地が冠水してしまった。 において、有効的に備蓄品 このような中、リスクが そこでうかがうが、県の 大雨により敷

うな考え方に基づいている 備蓄倉庫の配置は、どのよ

の答弁を紹介します。

の高潮対策の進捗状況を質問しました。伊藤県議の質疑と県執行部 として、県の考えを聞きました。また、習志野市内を流れる3河川 野市選出、2期) は6月県議会で登壇し、災害への県の備えなどに

安心・安全なふるさとづくりに力を注いでいる伊藤寛県議

(習志

いますが、伊藤県議は「災害想定区域にある備蓄倉庫は移転が必要」 ついて県執行部に尋ねました。県は県内13カ所に備蓄倉庫を備えて

ります。 給体制の充実に努めてまい 倉庫を13・

の備蓄倉庫では、 えたりしたと聞いている。倉庫内の備蓄品の配置を る被害を最小限にするため、 るとのことだが、 、リスク回避 大規模災害の 伊藤議員 品を活用で、県 2、長生地域に努めてい 2カ所に分散 賢 備蓄委 浸水によ 変

きるようにすることが重要。 災害想定区

県政や習志野市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

習志野市袖ヶ浦2-4-1-102 TEL. 047(454)8358 〒275-0021

合計13カ所に支援物資を備倉庫と、民間倉庫2カ所の所管内に11カ所の県有備蓄

県有の備蓄倉 適切に 置 できるだ 物資 している 速や 行う 所

け近い場所に設 敷地内もしくは、 ため、各地域振興事務 庫の維持管理を かに物資の搬出作業を行う とともに、災害時には は、平常時に備蓄

送を含めた支援物資の供することができるよう、輸要な物資を速やかに提供要な物に提供 要な物資を速やり引き続き、災害 ところです。

庫につ やい

蓄しています。

る。 ていただくことを要望す うな移転先の検討を始め

● 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒 • 2007年 習志野市議会議員当選(3期) ◆2019年 千葉県議会議員当選(2期)

域にある葛南地域の備蓄倉

しかしながら、

のすべての備蓄

現 ● 県 議 会 健康福祉常任委員会委員長

格

中学・高校教員免許、防災士

されていることから、活用の

め、国の調査を受ける必要

がある。

そこでうかがうが、大久

野市には、高瀬川、谷津川、 伊藤議員 私の地元習志 集中しているほか、学校や 地部に多くの人口と産業が 最奥部に位置しており、平 なんと約3000億円を による高潮被害の影響額は、

影響を強く受ける東京湾 菊田川の3つの河川が流れ これらの河川は、高潮の

ひとたび高潮が発生すれば、 救急指定病院も整備され、 |大な被害を受け、3河川

超えると県は見込んでいる。

過去最大の高潮を記録し、 風21号において、大阪湾で 国内では、平成30年の台

こしており、今後、地球温暖 関西国際空港の滑走路が浸 水するほどの被害を引き起

相まって、高潮被害が一層 が加速する中、海面上昇と 化による気候変動への影響 野市内の河川高潮対策にど 現実味を帯びてきている。 そこでうかがうが、習志

のように取り組んでいるの 谷津川及び菊田川について 県土整備部長 高瀬川、

要であると考えております。 踏まえ、河川高潮対策が必 は、近年の災害の激甚化を

す。

が了承され、今年度から高 場を、新たに整備すること 基の水門と2カ所の排水機 議会において、河口部に3 の県土整備公共事業評価審 容の検討を進め、本年2月 令和3年度から、整備内

転車通行を

警察だけでなく市町村と一体とな

り取り組むべきものと考えている。

っかり連携して、幅広い年齢層の 移動手段として人気のある自転車 について、安全で快適な通行空 間が確保されるように要望をする

市町村との情報共有を図り、し

伊藤議員 自転車利用

者の安全確保に向けては、

対策に取り組んでまいりま ことといたしました。 に連携しながら、河川高潮 瀬川の水門整備に着手する 今後とも関係市と緊密

、氣田川の整備も

川と谷津川の上流は谷津 の水門から整備着手 するとのことだが、高 伊藤議員 高瀬川

津川も整備する必要がある川の水門整備とともに、谷 そこでうかがうが、高瀬

のではないか。

谷津川は、谷津干潟を介し

県土整備部長 高瀬川と

から、谷津川についても、

市内の他の2河川よ 伊藤議員 習志野

の円滑化が課題の地区。ぜ ひ、 特徴で、災害時の避難誘導 の周辺地域は人口密度が高 要望する。 に整備していただくことを く、高齢者人口も多いのが り流域面積が大きい菊田川 菊田川についても早期

流入するおそれ 谷津川から高瀬

があること

川へ海水が

川だけ水門を整備しても、

てつながっているため、

高瀬

要望

順次整備してまいります。

報告が挙げら |点で約35万 になるとの

認知症の方もいらっしゃる。 ためにも、周囲や き、自分らしく暮らし続ける が尊厳と希望を持って前を向 ためにも、また、認知症の人 認知症に早期 ・地域の正し に対応する

だいています。

健康福祉部長 認知症の

どのように取り組んでいる の理解促進・啓発に向けて、

知症への社会の理解を深め 暮らし続けるためには、認 方やその家族が自分らしく いくことが必要です。 県では、認知症について正

> その家族を見守り、応援す 校や企業等と連携して養成 る「認知症サポーター」を学 するとともに、認知症の方本 しく理解し、認知症の方や して委嘱し、イベントなどで 人を「ちばオレンジ大使」と こ自身の体験を語っていた

65 れ

する若年性 歳未満で発 ているほか、

ります。 啓発活動についても支援を けられるよう、市町村等と 後も、認知症の方と家族が 行っているところであり、今 連携して取組を進めてまい 住み慣れた地域で暮らし続 オークなど市町村等が行う また、認知症メモリーウ

い理解が欠かせないと考える。

そこでうかがうが、認知症

伊藤議員 県とし

取り組んでいただくことを 要望する。 用した認知症の理解促進に てもぜひ、映画を活

の問査 7 月 E

地域も特定されている事 案」に該当する区域に設定 は、旧陸軍習志野学校跡地 る方法の可能性が高く、かつ に所在しており、国において、 「毒ガス弾等の存在に関す にある大久保職員住宅跡地 伊藤議員 習志野市泉町 提として、安全確認のた

でいくのか。

けて、どのように取り組ん 保職員住宅跡地の活用に向

積や時期等について協議を 総務部長 大久保職員住 県では、国の調査が円

保職

滑にできるよう、撤去の面 のために未実施の区域があ ていたところですが、物置 る土壌調査が一部実施され やアスファルトの構造物等 宅跡地については、国によ

としています。

と調査を並行して行ってい 重ね、令和5年度から撤去

施し、特に安全上の支障と 撤去・調査を実施すること いても、5年度と同規模で でした。また、本年度にお なるものは発見されません 撤去後、速やかに調査を実 区域の約3割の構造物等を 令和5年度は、調査対象

知症患者35万

議場の自席で再質問をする伊藤県議

備しただけでは、水門の運 ら、高瀬川に水門のみを整 干潟でつながっていることか

24万人、認知症の人数は 443万人と年々増加して 65歳以上の高齢者数は36 伊藤議員 現在の日本の 問題の一つとなっている。 おり、認知症は現代の社会

守れないだけではなく、被 ある住宅地を高潮被害から むしろ、谷津干潟の背後に 谷津川を遡上してしまい、 用の仕方によって、高潮が

はないかと危惧している。 害が甚大になってしまうので

と連携して、計画的に構造 認知症の人数は、令和7年 職員住宅跡地の早期活用が 物等の撤去を進め、大久保 今後も、国等の関係機関 千葉県では、65歳以上の

該地の一刻も早い活用につ 固に連携して取り組み、 に進むよう、関係機関と強 なげていただきたい。 査等が着実かつ早急 伊藤議員 土壌調

図れるよう取り組んでまい